



News Release

報道関係者各位

2007年12月7日

中間法人 知的財産教育協会

2007年第3回 知的財産検定 検定実施結果公表 —すべての級において過去最多の申込者数を記録—

中間法人 知的財産教育協会（東京都港区、代表理事：棚橋祐治）は本日、「2007年第3回知的財産検定（11月4日（日）実施）」の実施結果を公表しました。

■すべての級において過去最多の申込者数を記録

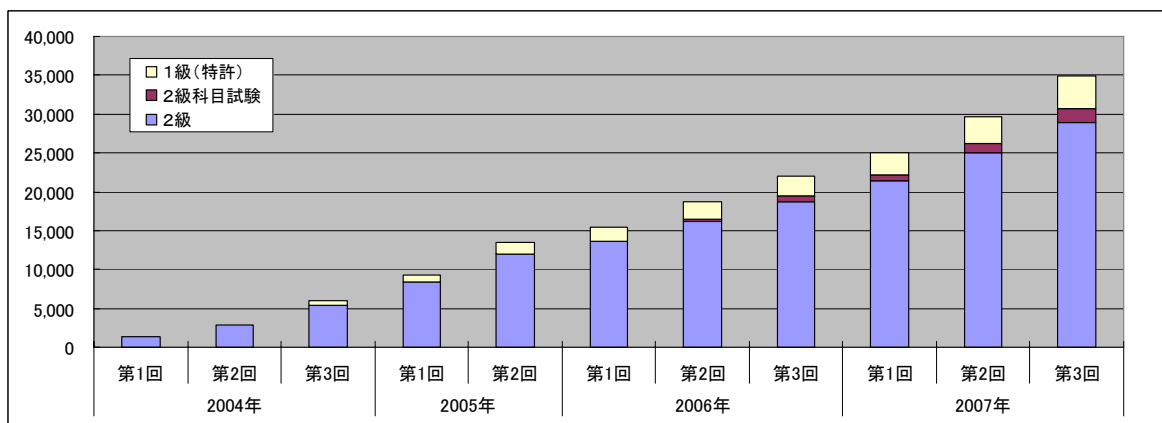
2004年第1回開始以来11回目の実施となった今回、すべての級において過去最多の申込者数となりました（合計5,224人。受検者数は「**図表1**」参照）。中でも1級（特許）は、前回比約1.5倍増となり（499人→743人）、2級合格後、1級（特許）受検へとステップアップする人が増加傾向にあるとも言えます。また、今回で累計受検申込者数は、約35,000人となりました（34,946人。「**図表2**」参照）。今回初めて、全都道府県から受検申込者がいたことも注目点です。合格率は、各級とも前回とほぼ同様でした。

図表1 2007年第3回 受検者数・合格者数・合格率

	1級(特許)	2級	2級科目試験		
			(特)	(意)	(著)
受検者数	667人	3,498人	233人	220人	225人
合格者数	34人	1,428人	139人	156人	155人
合格率	5.1%	40.8%	59.7%	70.9%	68.9%

※合格率はそれぞれ実受検者に対する合格者数の割合 ※1級合格者数は認定者のみ（評価者は含まない）

図表2 2004年第1回～2007年第3回までの受検申込者数累計



※2007年第1回は臨時回のため、2級科目試験は実施なし



受検申込者の属性（職業）は前回同様、1級（特許）は「知財」が約半数を占め、2級・2級科目試験は「研究開発・エンジニア」が最も高い割合を占めました（「図表3」参照）。

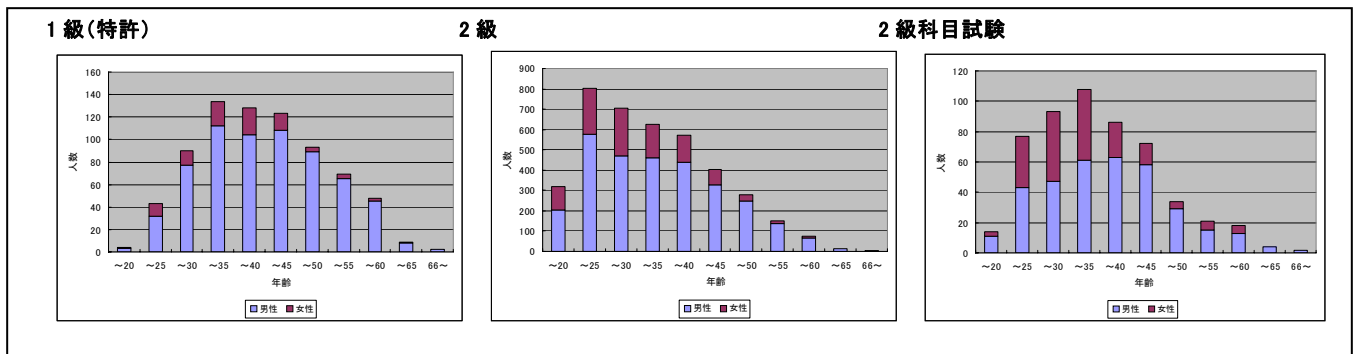
また、属性（年齢分布・平均年齢・男女比）もほぼこれまでと同じ傾向が見られましたが、1級（特許）・2級科目試験は女性が、2級については若年者層（25歳以下）が微増傾向にあります（「図表4」参照）。

図表3 2007年第3回 受検申込者の属性(職業)

(単位:%)

	2007年第3回								
	1級(特許)			2級			2級科目試験		
	個人	団体	合計	個人	団体	合計	個人	団体	合計
① 知財	47.3	81.1	51.4	16.1	13.5	15.5	17.5	9.6	16.4
② 法務	2.1	0.0	1.9	3.3	1.2	2.8	3.9	0.0	3.4
③ 研究開発・エンジニア	19.9	5.6	18.2	21.3	30.1	23.4	18.2	63.0	24.4
④ プロジェクト・マネジメント	1.1	0.0	0.9	1.9	1.1	1.7	1.8	0.0	1.5
⑤ 営業	1.5	1.1	1.5	5.0	2.1	4.3	4.4	0.0	3.8
⑥ 企画	2.0	1.1	1.9	4.1	1.1	3.4	3.9	0.0	3.4
⑦ 人事・教育	0.5	1.1	0.5	1.9	0.5	1.6	1.5	2.7	1.7
⑧ 制作	0.2	0.0	0.1	0.4	1.2	0.6	1.1	0.0	0.9
⑨ 法律事務所(弁護士等)	0.8	0.0	0.7	0.3	0.3	0.3	0.4	0.0	0.4
⑩ 法律事務所(弁理士等)	3.5	0.0	3.1	1.8	0.3	1.5	2.6	0.0	2.3
⑪ 学生	5.1	3.3	4.8	18.4	34.9	22.3	12.1	1.4	10.6
⑫ その他	11.9	6.7	11.3	20.4	6.7	17.2	24.3	13.7	22.9
不明	4.1	0.0	3.6	5.1	7.2	5.6	8.1	9.6	8.3

図表4 2007年第3回 受検申込者の属性(年齢分布・平均年齢・男女比)



1級(特許) 平均年齢:40.1歳 男女比:86.8%/13.2% 2級 平均年齢:33.0歳 男女比:74.6%/25.4%
 2級科目試験 平均年齢:35.4歳 男女比:65.4%/34.6%

団体受検は、2級・2級科目試験および全体合計の受検申込者数が、2級科目試験の申込団体数が過去最多となりました。

図表5 2006年第3回～2007年第3回までの団体受検申込者・団体数

	2006年第3回	2007年第1回	2007年第2回	2008年第3回
1級(特許)	71人/14団体	45人/10団体	59人/9団体	90人/14団体
2級	645人/48団体	529人/26団体	751人/35団体	944人/41団体
2級科目試験	52人/8団体	-	69人/7団体	73人/9団体
合計	768人/70団体	574人/36団体	879人/51団体	1,107人/64団体

※2007年第1回は臨時回のため、2級科目試験は実施なし



団体受検企業は、これまでどおりメーカーが最多でしたが、TLO 等新たな業種による団体受検活用もありました。大学による団体受検も引き続き多く見受けられました。

<2007 年第 3 回の主な団体受検企業・大学> ※50 音順

株式会社IHI、旭化成株式会社情報技術研究所、旭化成ケミカルズ株式会社鈴鹿事業場、味の素株式会社、株式会社アドバンテスト、アルパイン株式会社、アンリツ株式会社、市光工業株式会社、エリエールペーパーテック株式会社、大阪工業大学知的財産学部、国立大学法人大阪大学、大阪府行政書士会、吉備国際大学、株式会社クレハ、國學院大學、國學院短期大学、独立行政法人産業技術総合研究所、株式会社サンビジネス、四国大学、国立大学法人静岡大学、シャープ株式会社(生産技術開発推進本部)、JUKI株式会社、昭和電線ビジネスソリューション株式会社、株式会社信州TLO、住友重機械工業株式会社、住友電工知財テクノセンター株式会社、セイコーエプソン株式会社、ダイオーペーパーコンバーティング株式会社、TDK株式会社知的財産センター、獨協大学、特定非営利活動法人特許流通促進会議、国立大学法人名古屋工業大学、バイオニア株式会社、富士ゼロックス株式会社 OPS 事業本部、株式会社富士通長野システムエンジニアリング、ホーユー株式会社、ポッシュ株式会社、三菱マテリアル株式会社、リョービ株式会社、早稲田大学エクステンションセンター ほか多数。

2007 年第 3 回の詳細な実施データはこちら⇒ <http://www.ip-edu.org/exam/data/kekka071104.pdf>

【2008 年第 1 回(最終回)について】

知的財産検定は、国家検定の開始をもって全面的に国家検定へ移行する予定です。よって、知的財産検定は、2008 年第 1 回(最終回)の実施が最終となります。

■2008 年第 1 回(最終回)実施概要■

【検定実施日】 個人受検および団体公開会場 2008 年 3 月 9 日(日)

団体非公開会場 2008 年 3 月 10 日(月)午後または 3 月 11 日(火)のうち、任意の時間帯

【実施試験種】 1 級(特許)・2 級・2 級科目試験(1 科目)・2 級科目試験(2 科目)

※1 級(特許)は、東京、愛知、大阪、岡山、福岡で実施します。

※2 級科目試験(1 科目)(2 科目)の申込みは、過去の科目試験合格者に限定し、2 級認定申請に必要となる科目数のみ申込みを受け付けます。今回が最終実施となるため、2 級科目試験(1 科目)(2 科目)の新規の受検申込は受け付けません。また、1 級(特許)、2 級は、これまでどおり誰でも受検を申し込むことができます。

※2 級科目試験(1 科目)(2 科目)は、個人受検のみの実施となります。

【受検地】 北海道・東京・愛知・大阪・岡山・福岡(全国 6 会場)

【申込期間】 Web 申込: 2007 年 12 月 3 日(月)～2008 年 2 月 7 日(木) 24:00

郵送申込: 2007 年 12 月 3 日(月)～2008 年 2 月 5 日(火) 事務局必着

団体申込: 2007 年 12 月 17 日(月)～2008 年 1 月 30 日(水) 事務局必着

※1 級(特許)と団体受検は、12 月 17 日(月)から申込受付開始

詳細は、当協会 HP をご覧ください⇒ <http://www.ip-edu.org/exam/index.html>

【知的財産管理技能検定(国家検定)への移行予定について】

知的財産検定は、知的財産管理技能検定(国家検定)に全面的に移行予定です。国家検定は、2008 年 7 月から試験の実施を予定しています。

詳細は、当協会 HP「知的財産管理に関する新国家検定について」をご覧ください。

⇒ <http://www.ip-edu.org/info/index.html>

当協会では、知的財産に関する知識の普及と啓蒙を活動趣旨としています。本検定がより多くの方に活用され、国が推進している知財人材育成によりいっそう貢献できるものになるよう努めてまいります。

【本件に関するお問い合わせ】

知的財産教育協会 検定運営事務局 広報担当: 安場

E-mail: support@ip-edu.org TEL: 03-3438-2147 FAX: 03-3438-2148

知的財産検定 URL: <http://www.ip-edu.org/exam/index.html>